

図書館新聞

vol. 25



おすすめ本・活動報告・4年生振り返り・編集後記

学生図書委員おすすめの本

テーマ：予想を裏切られた本

『忘却のレーテ』 法条遥 新潮社 2015年



私が予想を裏切られた本は法条遥さん作の『忘却のレーテ』です。

作品の概要は、両親を事故で亡くし記憶消去薬「レーテ」の新薬実験に参加した女子大生・笹木唯が、完全に閉鎖された施設で天才科学者の監視のもと、5人の被験者たちとともに7日間を過ごす姿を描いたものであり、ジャンルはミステリー、サスペンスです。

ネタバレになってしまうのであまり言うことはできませんが、様々な人物の考えや言い表せない思い・感情が錯綜していたり、「これってこういうことだったの!？」と予想を裏切られたりする部分も多くあるので、ぜひミステリーやサスペンス好きな方は読んでみてください。(地文3年 田中)

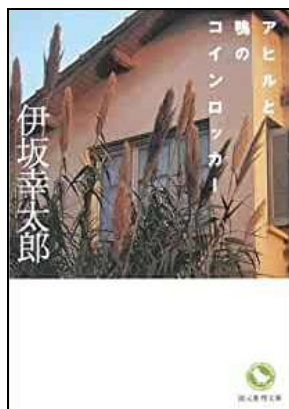
『政治家の覚悟』 菅義偉著 文藝春秋 2020年

この本は、菅前首相の政治家人生について書かれた本です。私は、いい意味でこの本に裏切られました。その理由は、菅前首相が想像以上にコツコツと実績を重ねてきたことが分かったからです。例えば、地方分権改革として「ふるさと納税制度」を創設したり、ETC普及のために、ETC車限定で高速料金を割引するなどしておられました。

また、道路公団の反対を押し切って、渋滞を緩和するなど、思い切りの良さも感じられました。菅前首相は、寡黙な印象がありますが、熱い思いを持った方だということが分かりました。これを読めば、彼の政治に懸ける思いと、これまでの実績が分かります。(地文3年 万代)



『アヒルと鴨のコインロッカー』 伊坂幸太郎 東京創元社 2006年



気弱で流されやすい椎名が、進学と同時に越してきたアパートで出会った隣人・河崎。彼は椎名に「本屋を襲うのを手伝ってほしい」と言い出した。流されるまま行動を共にし始め、なぜか一緒に本屋を襲撃し、広辞苑を盗むことに。襲撃後、気になって再度本屋を訪れた椎名だったが、全く気にしていない様子に肩透かしをくらう。そんな中、以前河崎に「彼女の言うことは信じるな」と聞かされていたペットショップの店長・麗子と、ひょんなことから出会った椎名。そこで彼女が話した内容は、これまでの話の前提が全て覆るものだった。

河崎の真意とは何か、そして「河崎」とは何者なのか。最後に「え〜！」と声を出してしまうほどの衝撃が待っています。(地文2年 福田)

『僕はロボット越しの君に恋をする』山田悠介 河出書房新社 2017年

2060年、三度目のオリンピック開催が迫る東京で、人型ロボットを使った国家的極秘プロジェクトが進んでいた。プロジェクトメンバーの健は、幼なじみで同僚の陽一郎、そして彼の妹の咲に助けられながら奮闘する。

ところが、咲の勤務先にテロ予告が届き事態は急変した。健の操縦するロボット越しに見る想い人の咲への感情、ロボットへ好意を持ち始める咲に複雑な心境の健…二人の関係はいかに。そしてテロ事件をきっかけに暴かれる衝撃の真実にきっと裏切られること間違いなし。皆さんもぜひ裏切られてください (地文3年 植木)



『イヴリン嬢は七回殺される』スチュアート・タートン 文藝春秋 2019年

SFX ミステリー、人格転移とタイムループで、混乱しまくりの一冊です。

周囲の状況が全くわからない主人公は、まず自分が誰なのかすらわかりません。物語が進むにつれ、自分は一体誰なのか、周りの人たちとはどのような関係があるのか、なぜこうして犯人を探しているのか、なぜ自分も狙われているのか、謎が謎を呼んでいきます。また、誰を信用していいのかもわからないため、手に入れた情報に不信感を抱くことも。主人公と共に真実を突き止めませんか？ (地文三年 中村)

『贖罪の奏鳴曲』中山七里著 講談社 2013年

中山七里によるリーガルサスペンス。主人公である御子柴礼司は依頼者に高額報酬を要求する悪辣な弁護士でありながら世間で話題になっている勝ち目のない保険金殺人の国選弁護人となります。

事件の真相と理由、どうして弁護を引き受けたのか、犯人の結末…と予想もできない展開が続きます。そして、過去に罪を犯した主人公が罪を償うとはどういうことかを知る場面も見どころとなっています。

主人公の心変わりのきっかけにもなるピアノの演奏シーンの描写にも注目してみてください。 (地文3年 足立)



『姑獲鳥の夏』京極夏彦 講談社 1998年

昭和27年の夏に主人公が、友人が営む古本屋である京極堂へ「二十箇月も身籠り続ける女性」という謎を持ち込んだことからストーリーは始まっていきます。ストーリーが進んでいくにつれて新たな謎や事件が起こっていきますが、事件証言者の話の食い違いだけでなく、常識では理解しにくいような奇怪な証言や噂の数々はこの本の大きな特徴です。

冒頭に登場する「二十箇月も身籠り続ける女性」もなかなか理解しがたい謎ですね。気になる謎の真相はまさに予想を裏切られたものでした。(地文1年 田中)

TOPIC

活動記録 R3 年度

福袋〈6月～7月〉

昨年に引き続き、福袋企画を行いました。大盛況で、開始から10日ですべての福袋がディスプレイ棚から無くなりました。

今回考えたテーマは、「桜」などの単語だけのものや、「週末に読みたい本」「ちょっと怖い」などのテーマのものを、中身が分からないように3冊ずつ入れました。そのため、初めて参加する人も、参加したことがある人もこぞって借りてみたくなる福袋が作れたのではないかと考えています。



選書〈6月・11月〉

昨年はコロナ禍ということもあり、各々が選んだ本を図書館経由で注文するという形式をとりましたが、今年は今井書店さんへ出向き、直接手に取って本を選ぶことができました。書店での選書に参加するのは初めの人もいました。やはり実際に本を手に取りながらの方が、楽しく本を選ぶことができたように思います。

図書委員の選書によって選ばれた本は、学生図書委員選書本の棚に並べられています。選んだ本人による手書きのPOPも作成しました。



ビブリオバトル〈7月～11月〉

第1回学内予選が7月20日(火)、第2回学内予選が9月22日(水)に行なわれました。それぞれの予選のチャンプ本と準チャンプ本に選ばれた人は、11月9日(火)に行われた決勝戦に参加しました。観戦者は、対面での観戦とオンラインでの観戦、どちらかで参加してもらいました。

バトルは5分という短い時間の中で自分のおすすめの本を紹介しなくてはならないため、どの発表も熱があり、要点がまとまっていて紹介された本を手にとってみたくなりました。また、自分が普段読まないジャンルの本との良い出会いの機会にもなりました。

□第1回学内予選チャンプ本

『ない本、あります。』 野津成美さん(地域文化学科4年)

□第2回学内予選チャンプ本

『鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。』

伊藤夢希さん(地域文化学科3年)

□決勝戦チャンプ本

『アンドロイドは電気羊の夢を見るか?』

山登夏葵さん(地域文化学科3年)



図書館クイズ〈6月～8月〉

県立大学の図書館や所蔵する資料などに関連したクイズを10問出題し、見事全問正解した人には、図書カードを贈呈するサイフに嬉しいイベントでした。本来は1か月間の予定でしたが、期間を延長し、8月12日まで開催しました。

クイズは、担当の図書委員及び大学図書館の司書が作成し、計156問集まりました。その中から、易しい問題、難しい問題が混ざるように10問を選び一枚の問題用紙にしました。出題パターンは、30種類。

難問に至っては、司書課程の専門科目か？！というレベルのものもあり、誰でも参加してほしいクイズとしては難易度調整が今後の課題かもしれません。ですが、図書カードを目指して奮闘する学生も確認しており、私のところに直接ヒントを聞きに来たクレバーな学生もいてとても楽しかったです。



学生図書委員考案！図書館クイズ No.29

氏名()

① 借りたい本は昨日以前のもは借りることが出来る。○か×

② 架の奥には何が2つあるか。

③ 行う蔵書点検とは、何のために、何をすることでしょうか？

④ 何を調べるために、1冊1冊点検をすること

⑤ 「Articles」で以下のキーワードを含む本文ありの論文を検索すると、何件ヒットするでしょうか？ 【キーワード】シェイクスピア劇の女性

1件

⑥ 2013年10月の企画展示のテーマは何？

魅力をアピールする力

⑦ 憲法から告示までの法令や判例、文献情報等の法情報が検索、閲覧出来るデータベースの名前は何でしょう。

D1-Law

⑧ 島根女子短期大学が出版した刊行物に掲載されている白石さんが書いた論文名は

長野ほゆみの世界—その少年像について

⑨ 集密書架にある異文化理解ゼミの令和2年度の卒業論文集の最初の論文のタイトルは何でしょう。

「邦楽（J-POP）と洋楽・K-POPについて～それぞれの音楽の魅力」

⑩ 本学発行誌、教職センター年報 第2巻 高橋 泰道 先生執筆
「小学校プログラミング教育の現状と課題：小学校におけるプログラミング授業の実践から」
は何回ダウンロードされているか ※本学機関リポジトリにおいて

92（受け取った時点）

⑪ 請求記号Fは、何の略か？

Fiction

お疲れさまでした～！



商業高校交流会

〈1回目: 7月14日(in 県大)〉

〈2回目: 12月21日(in 商業高校)〉

1回目の交流会では松江商業高校の皆さんに大学に来ていただきました。アイスブレイクとして「読みたくない本」のプレゼンをしたり、図書館の中やおはなしレストランを案内したり、請求記号を使った対決を行い、高校生との距離を縮めると共に、高校生の皆さんに大学図書館について知ってもらうことができました。特に請求記号を使った対決では、決められた数字に複数の本の請求記号を合わせて近づけ、どのグループが最も近かったかを競う対決で、制限時間を設けていたこともあり、同時に計算もしなければならなかったためドタバタで最も盛り上がりました。

2回目は商業高校にお邪魔し、高校内を案内してもらいつつ、商業高校クイズに挑戦しました。4グループに分かれてブックウルフというゲームを行い、皆でPOP作成もしました。お土産に、商業高校の生徒さんに手作りの菓をいただきました。



地域文化学科4年 野津成美

四年間を通して、図書委員では様々な活動に関わることができました。中でも印象に残った活動は、大学図書館学生協働交流シンポジウムに参加したことです。全国各地の図書館活動を行っている学生と交流できるイベントで、とても有意義な経験ができました。

図書委員での活動をまとめたポスターの制作やシンポジウム全体の司会を任せてもらい、図書館活動を通して、主体的に行動するきっかけになりました。現在は、新型コロナウイルスの影響でオンライン実施のようですが、こういった図書館での活動を通じた交流の機会があれば後輩の皆さんも是非参加してほしいと感じます。



地域文化学科4年 野村星歌

1年生の頃は大学生生活に慣れることに必死で活動にはほぼ参加出来ていませんでした。せっかく入ったのに活動に参加していないのはもったいないと2年生から積極的に参加するようになりました。委員会以外の活動もするようになってスケジュールが分刻みの日もありましたが、今思うとその辺りから自分から行動出来るようになったと思います。

これどんな活動？と思ったらとにかく参加して体験してみると案外楽しいかもしれません。



編集後記

地文3年 中村

おすすめ本の記事を書くにあたり、少し読み返してみると夢中で読んでいて、最近あまり本に触れていなかったなと実感しました。本はいろんなジャンルがあり、それぞれの世界に入っていけることが魅力かなと思います。また、コロナウイルスも広まってきているので、外出しない期間にどんどん本に触れていこうと思います。

地文3年 足立

今回初めて図書館新聞の制作に携わりました。今年はあまり委員会活動全般に参加できていなかったのがこうした形で活動に関わることができてよかったと思います。

普段はなかなか本の紹介をすることがないためおすすめの本紹介は改めて難しく感じましたが、本を読み返す良いきっかけとなりました。

地文3年 植木

前回、前々回に引き続き表紙を担当させていただきました。人目に留まるような表紙になるように心掛けました。おすすめ本「裏切られた本」は今まで読んだどの本を選ぶか悩みました。他の皆さんが挙げられた本もぜひ読んでみたいと思います。新聞係の代表として取りまとめをしたりすることは大変でしたが、係の方や司書の方と連携しながら今年度の図書館新聞を無事に発行することができて安心しています。来年度の図書館新聞も期待しています。

地文3年 万代

本の紹介をするのが楽しかったです。今年度の初めてのテーマは「甘い本」でした。私は、80年代の付録や雑貨を紹介した本を取り上げました。本の魅力が十分に伝わったと思います。

次のテーマは「予想を裏切られた本」でした。そこで「政治家の覚悟」という本を取り上げました。一人の政治家の熱い思いを代弁する紹介になったと思います。

レイアウトや表紙の作成はできませんでしたが、楽しかったです。

地文2年 福田

昨年から引き続き図書館新聞の作成に携わりました。長らく続くコロナ禍ですが、今年は係で集まって内容、担当などを決める打ち合わせを行えたのが良かったです。図書委員の活動自体も昨年より色々なことを実施することができたので、記事も楽しく書くことができました。今号のおすすめ本は「予想を裏切られた本」がテーマということで、私も後半でストーリーが覆る、伏線が張り巡らされた一冊を紹介しております。ぜひご一読ください。

地文1年 田中

新聞の作成に伴い、1年間を振り返ってみると以前に比べ読書時間が圧倒的に減っていると感じました。以前は空き時間があると読書をしていましたが、今では圧倒的にスマートフォンを使う時間が増え、小説だけでなく漫画も購入したまま放置してしまうものが増えたことに気づきました。PCやスマートフォンなど画面に向かうことが増えた今こそ、からだを労わるためにももう1度読書を習慣づけしてみようと思いました。

